

諸 行 動・諸会議名	第 91 回 運輸の日
開 催 日・実 施 日	2017年05月09日 (火)
開催場所・実施場所	東神トラックステーション
内 容	アンケート調査 34 件回収 (40 配布)
出席者・行動者	今井 勇 (ヤマト運輸労働組合厚木支部) 奥田 洋史 (日新労働組合) 賀茂 一 (全日通労働組合神奈川支部) 阪本志津喜 (日新労働組合)



運輸の日2日目、曇り空の下アンケート調査を行いました。現在トラックステーションのサービス施設が閉鎖されている事を知らずにいるドライバーさんから施設の質問を多くされました。

あるドライバーの方は「労働環境は、依然厳しい、安月給、長時間労働を訴えていました。いけないのは、荷主のいいなりになっているトラック運輸業界、そして荷主しだい環境は大きく変わる」と言われました。これからの課題である『労働時間』今は、あまり気にされていませんが、この業界はこれ

からどうなってしまうのか？若者が魅力を感じてこの業界に就業してくれるのか？心配している。

記事：今井 勇



阪本：アンケート調査を終えての感想としては、中小の運送会社でもグレーな部分はあるものの、運行等の管理は徹底されつつある様な感じであった。あとは、運転手の働き方への意識と労働組合組織率、賃金の低さは淋しく感じました。

賀茂：今日は、アンケート調査、トラックステーションの食堂等が閉鎖のためか車が少ない！アンケートの中で残業時間と残業支給賃金に差がありますか？の質問にほとんど方があると回答していました。内容は、色々あるが、会社によって残業支給内容が違うのは…？



奥田：久しぶりに東新TSの地へと足を運ぶ事となりましたが、早朝から空スペースが目立っている状況でありました。忙しいから停まっていないのか、仕事が無いから停まっていないのか、果たしてどちらなのか。

アンケートでお話を聞いても、相変わらず時間外労働をしていると云った認識をしている方が少な過ぎると感じました。

昨今は、マスコミの報道でも長時間労働について多くの報道がされています。現在の労働環境の改善を目的とするのであれば、まずは行政の皆さんと当事者の皆さんで直接対話できるような場が必要なのかもしれません。